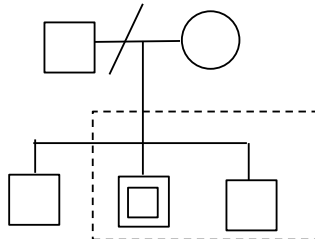


# 相談援助事例

## 無料低額宿泊所 よりそい処「尽心庵」活用例

事例 No. 3	足の骨折で就労できず、生活保護受給までの生活支援		地域	T市→尽心庵→T市			
主な対象者	性別	世帯の特徴	<input type="checkbox"/> 高齢	<input type="checkbox"/> 児童	<input type="checkbox"/> 母子・寡婦	<input type="checkbox"/> 身体障がい	<input type="checkbox"/> 知的障がい
	男		<input type="checkbox"/> 精神障がい	<input type="checkbox"/> 外国籍	<input type="checkbox"/> ホームレス		
	年代		<input type="checkbox"/> 虐待	<input type="checkbox"/> DV	<input type="checkbox"/> 引きこもり	<input checked="" type="checkbox"/> 病気(骨折)	<input type="checkbox"/> アルコール依存
	40代		<input type="checkbox"/> 認知症				
	世帯 単身		<input type="checkbox"/> 多重債務	<input type="checkbox"/> 各種滞納	<input type="checkbox"/> 無収入	<input checked="" type="checkbox"/> 不就労	<input checked="" type="checkbox"/> 生活保護
紹介経路	T市地域包括支援センター						
相談内容	<p>平成●年7月4日 石段から落ちて足を骨折、就労困難な状況となる。本氏は日雇い労働者。</p> <p>7月8日 同居の弟(日雇い労働者)からの生活援助も無理で、T市地域包括支援センターに相談に行き、食糧支援等を受ける。</p> <p>包括センターから社会貢献支援員に連絡が入り、支援員から弟宅は2階で階段の上り下り等が不便であり、またクーラーがない劣悪な環境の為、無料低額宿泊所『尽心庵』へ入所依頼。</p>		<p>家族関連図</p> 				
対応 (相談・支援の内容)	<p>7月28日 無料低額宿泊所「尽心庵」に入所。骨折が完治するまで食事を提供。</p> <p>8月18日より併設デイサービスにて、中間的就労として椅子の手入れ、洗車、配膳等を行ってもらう。できるだけ、利用者や職員とコミュニケーションを図るように促す。</p> <p>8月25日 8/5からの生活保護費が支給開始。</p> <p>9月10日 完治までもう少しのところ、散歩途中で転倒し、再度右足骨折。その後は、順調に回復。</p> <p>9月15日 就職活動に積極的でない様子なので、CSWと一緒に履歴書の書き方の練習を始める。</p> <p>10月27日 無料低額宿泊所を退所し、T市に転居。T市の保護に変更となる。</p>						
社会資源の活用	大阪府社協の生活困窮者レスキュー事業、無料低額宿泊所、無料低額診療を活用 生活保護						
経済的援助	保護開始までの7/28～8/4の無料低額宿泊所 宿泊料 8,000円、生活サービス費(食事) 11,040円は施設支援とする。						
連携機関	F市生活支援課、T市地域包括支援センター、病院MSW、ハローワーク、デイサービスセンター(就労訓練事業所)、社会貢献支援員、CSWと連携						